

採 択 理 由

【美 術】 発 行 者 ・ ・ 日 本 文 教 出 版 (株)

- 巻頭では3年間の学びが説明されており、各単元では「造形的な視点」や「学びの目標」を分かりやすく示すなど、生徒が見通しを持ち、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されていること。
- A4ワイド判が使用され、著名作家の多くの作品や写真を、大きくインパクトをもたせて掲載しており、美術文化への関心、見方、感じ方を深めることができるように配慮されていること。
- 美術と身の回りの生活のつながりを学ぶ学習を通して、生徒自身が新しい価値をもった作品を創造していこうとする意欲を高めることができるように工夫されたつくりとなっていること。
- アーティストの制作過程を、発想、構想段階から紹介することにより、多角的な鑑賞を促すとともに、生徒の制作意欲をかき立てる工夫がされていること。
- ピカソのゲルニカをはじめとした有名な作品が掲載されているほか、修復への視座、プロジェクション・マッピングなど、多岐にわたる内容構成となっていること。